



### 商工中金景況調査（2024年8月調査・定例分）の公表について

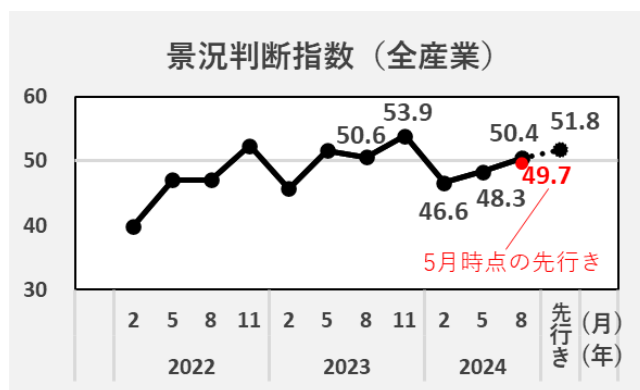
商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感などの実態把握のため景況調査を実施しており、今般2024年8月調査のうち毎回共通の質問項目（定例分）の結果について公表しました。

#### <2024年8月の景況感>

##### 8月の景況判断指数は3期ぶりの「好転」超

8月の景況判断指数は50.4と昨年11月以来の「好転」超となりました。先行きも51.8と「好転」超が継続する見通しです。

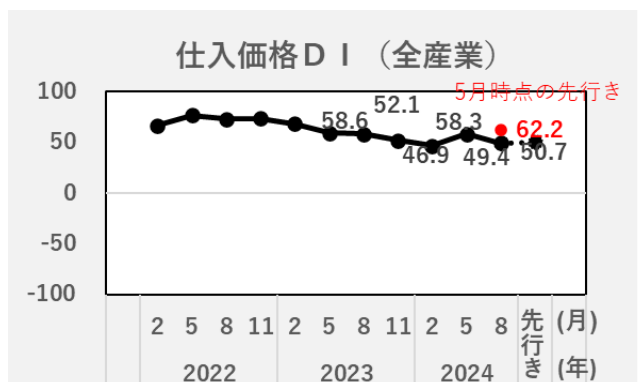
業種別では、飲食・宿泊、運輸業、食料品などで改善の動きがありました。ただし、製造業では「悪化」超の業種が依然として多く、前回、前々回に続き「悪化」超が継続しました。



#### <2024年8月の業況判断>

##### 【仕入価格】「上昇」超幅は縮小

仕入価格は、「上昇」超が続きつつも、その幅は縮小しております。局所的には金属相場がこのところ下落しているとの記載がみられましたが、全体としては依然としてコスト上昇が負担になっているとの声が多く寄せられました。



- ・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。
- ・トピックス調査分(中小企業の財務戦略について)は10月中に公表予定です。